最優秀 NOM フラッグシッププログラム **Best National Flagship Program**

LOM名

日本青年会議所

基本情報 事業名

日本一の SDG s 推進団体

① 戦略と実施

このプログラムの目的を記述してください

JCI 日本は SDGs という長期的な目標の達成のために、中期的な目標 を5つ定めました。

SDGsの全国のLOMへの普及

日本にある会員会議所694LOM、4万人のメンバーにSDGsを理解 してもらう事で、より加速的に地域社会に SDG s を広める方法を取り ました。

・SDGsの中小企業への普及

JCI 日本はメンバー企業、そして地域の中小企業にむけてSDGsの 推進を計画しました。

・SDGsを広められる人材の育成 JCI日本は、SDGsについての正しい知識学習し、推進する事ができる人材を育てるプログラムを計画しました。

・SDGs達成に繋がる国際貢献

JCI 日本は海外の途上国に対しての直接的な支援、そして日本近隣の NOM とも連携して合同事業を実施し SDG s を達成する計画を立てま した。

SDGsを推進するパートナーシップの確立

日本 JC は政府、NPO 団体、企業、大学をはじめ多くの団体と SDG s達成に向けてパートナーを結び、持続可能なインパクトを起こせるよ うシステムを作る計画を立てました。

このプログラムが、どのように JCI 行動計画に準じているかを記述し てください

JCI Plan of Action を参照して、インパクト Impact(影響力)・モチベート Motivate(意欲)・インベスト Invest(投資)・コラボレート Collaborate(協働)・コネクト Connect(つながり) についてそれぞれ記載してください

インパクト

JCI 日本は HeFor She 運動を実施し、2015年の実施以降、日本 では4000人しか賛同していなかった運動への署名を2019年の 2月から1年間で36000人まで増やしました。

選挙参加率の低い20代30代の世代に向け、利用率の高いネット 媒体を使用し、少子化、社会保障に関する国の未来についての政策を 若年層世代に発信しました。合計視聴者数22万5000名の視聴者 があり、政治に参加する機会を提供しました。

JCI 日本の4万人のメンバー、3,141社はSDGsの達成に向けて 積極的に活動を始めました。

日本 JCは SDGsに関連するメンバー育成、途上国支援、海外交流、意識啓発、災害支援事業など2300件以上を実施し、200万 人以上の人が関り、30億円以上の予算を投入し実施しました。

コラボレーション

SDG s タイアップ宣言 外務省 価値デザイン社会の推進 内閣府

JAPAN KIF

グローバルパートナー -として覚書(MOU)を結び正式に団体提携 UN WOMWEN

(ジェンダー平等推進に関する協力の覚書を交わす)

各地社会福祉協議会 防災協定

他40企業 30団体 約76800人

コネクト

JCI 日本は、2016年から毎年開催されている金沢会議で、国内 外18か国、4,000名のメンバーと企業35社がSDGs達成に向 けて協働する機会を作りました。

申請担当者名

JCI Japan

Basic Information

Name

The most powerful organization to promote SDGs

Strategy and Implementation

What were the objectives of this program? ※200 単語まで

JCI Japan has set 5 medium-term goals to achieve its longterm SDGs goal.

- To spread SDGs to all Local organizations We planned to promote SDGs to the local community more quickly by having 40,000 members understand SDGs at 694 Local organizations of JCI Japan.
- To spread SDGs to Small and Medium Enterprises (SMEs) We planned to promote SDGs for member companies and SMEs.
- To develop young people to promote SDGs We planned to provide programs to develop young people who have enough knowledge of SDGs and promote SDGs.
- · To contribute internationally to achieve SDGs We planned to provide direct support to developing countries overseas and to implement joint projects in cooperation with overseas National or Local organizations to achieve SDGs.
- To establish partnership to promote SDGs We planned to partner with governments, NPOs, companies, universities and many other organizations to achieve SDGs, and create network to produce sustainable impacts.

How does this program align to the JCI Plan of Action? ** 200 単語まで

IMAPCT

To achieve SDGs No.5, JCI Japan implemented the "He For She" gender equality Movement with UN Women. After our participation, the number of signatures for the movement increased from 4,000 to 36,000 within 6 months.

To achieve SDGs No.16, we hosted public discussions by candidates of national election to provide opportunity younger generations to participate in politics.

225,000 audience saw the public discussions about the policies regarding declining birthrate and social security over internet.

MOTIVATE

We motivate 40,000 members of JCI Japan and 3,141 companies to take action to achieve SDGs.

JCI Japan and its Local organizations implemented more than 2,300 projects related to SDGs, including member development, support for developing countries, international exchange, awareness raising, disaster support projects, and etc. More than 2 million people participated to the projects. We invested more than USD 30million.

COLLABORATION

UN WOMEN / A MOU on gender equality Ministry of Foreign Affairs / SDGs tie-up declaration

Over 40 companies, 40 groups about 76,800 people

CONNECT

We newly connect 88 companies or organizations to work

このプログラムが、どのように NOM の活動計画に準じているかを記 述してください

NOMの活動計画は「青年会議所は日本で一番SDGsを推進する団 体になること」でした。

そのため3つの側面からSDGsを推進しやすいように取り進めまし た。

- 組織編制:SDGs に合わせて社会・経済・人材グループを作り、ま 1 た10地区、47ブロック協議会にもSDGs担当委員会を設置しまし
- ルール作り: SDGs 推進宣言を決議しました。全国694のLOM がSDGS達成に向けた事業・政策に取り組みました。
- 人材育成:SDGsを推進する「SDGsアンバサダー」48人を 創出しました。合計1200人以上にセミナーを実施し、3,074社の 中小企業がSDGs達成にむけた活動を始めています。

JCI 日本は、将来の理事長候補者等102名、入会3年未満のアカデ ミーメンバー2918 名に対して SDG s に関するセミナーを実施。

「国際アカデミー」では、合計10日間 総予算2千650万円で実施され、世界77カ国90名の国際参加者が、SDGsを軸にした前 向きな変革の機会を創出しました。

このプロジェクトは、どのように JCI ミッション、および JCI ヴィジ ョンを推進しましたか?

ニッションとヴィジョンに分けて記載 ミッション:より良い変化をもたらす力を青年に与えるために、発 展・成長の機会を提供すること

ヴィジョン:若き能動的市民の主導的なグローバル・ネットワークに

日本中の4000人のメンバーがSDGsを推進することで、30 0 0 社以上の企業・行政等多くの分野で関係者と協働しました。 メンバーそして事業に参加した地域の若者は、自身の経済、社会活動 をSDGsのゴールに当てはめて実施する事ができるようになりまし た。

2011年より始まった「少年少女国連大使」事業は、中学1年生~ 高校3年生を対象に行われ、今年はスイスを訪問し、社会に根付いた SDGsを学んだ。正式な国交はなくとも民間のパートナーシップに よって恒久的世界平和へ寄与できるという実感を得ました。事業専用 フェイスブックページで発信しリーチ数87681、いいね数569 7を得る。

JCI ASPAC済州大会では参加者2604人、タリン世界会議 では参加者1231人が参加し、SDGsの達成などを通じて国際貢献運動を積極的に推進し、JCの持つ国際的なつながりをさらに強固 にしました。

金沢会議

JCI 日本は金沢会議で世界中の事例を共有し、その運動を加速させました。計18か国のNOMメンバーが来日し、国際参加者4、470 人、24のプログラムで過去最大の規模で実施されました。

① LOM 理事とメンバーの参加 このプログラムへの参加 LOM 数を数字で表してください

694

このプログラムに参加した LOM の数をパーセンテージで記述してく ださい

95%

LOM と LOM メンバーが、このプログラムの参加によって、得たプラ スの影響を記述してください

together for SDGs in "World SDGs Summit 2019" at Yokohama and in JCI Kanazawa Conference. Especially for SDGs No. 5, 6, 11, 13,14.

How does this program align to the National Plan of Action? ※200 単語まで

National plan of action of JCI Japan was "To be the No.1 SDGs-promoting organization in Japan".

Therefore, we planned to promote SDGs from three sides.

1 Organizational system: We established 4 groups (social, economic and human resources group) in accordance with SDGs.

We established SDGs Committee in 10 districts and 47 block councils.

- 2 Rule making: SDGs promotion declaration was adopted by General Assembly of JCI Japan . Nationwide 694 Local organizations worked on total 2,300 projects to achieve SDGs.
- 3. We developed 48 "SDGs Ambassadors" to promote SDGs. More than 1,200 seminars have been held. Total 3,074 SMEs stared their activities to achieve SDGs because of our promotion.

We held JCI Japan Academy on SDGs for 102 future candidates of local presidents. We provided Local Academy for 2,918 members who have been in membership for less than three

How does this project advance the JCI Mission and Vision? ※200 単語まで

JCI Mission

We provided development opportunities that empower 40,000 members and young people to implement SDGs in their own economic and social activities.

They collaborated in the projects with stakeholders in many fields, including more than 3,000 companies and governments.

Especially "The UN Youth Ambassador Project" was open to students from junior high school to senior high school. They visited Switzerland to learn about implementation of SDGs in local communities. They understood that not only official diplomacy but also people's diplomacy can contribute to eternal world peace. Their experience was shared on the Facebook page and 87,681 reach and 5,697 likes had got.

JCI Vision

JCI Conferences

We actively promoted international contribution movements through the projects for SDGs and further strengthened global network of JCI.

2,604 participants participated in the JCI ASPAC at Jeju and 1,231 participants participated in the World Congress in Tallinn.

JCI Kanazawa Conference

4,470 JCI members from 18 NOMs participated at JCI Kanazawa Conference. JCI Japan shared best practices for SDGs in 24 sessions and accelerated its movement.

Involvement of Local Board of Directors and Members By number, how many Local Organizations were involved in this program? ※2 単語まで

By percentage, how many Local Organizations were involved in this program? ※1 単語まで

How did members and Local Organizations benefit from their involvement in this program? ※250 単語まで

JCI 日本は JC 活動を市民に説明するにあたり、活動の幅が広く、簡 単に活動を説明するのが難しい場面もありました。

しかし JCI 日本のメンバーはこれを機に「JCI 日本は SDGs に貢献する団体である」と説明をする事ができ、地域住民をはじめ、世界からも何を目標としているか分かりやすい団体になりました。

JCI 日本は SDG s を推進する事でブランドが向上し、各 LOM の会 員拡大の成功にもつながりやすくなりました。

JCI 日本はまちを良くすることで、自社の発展を考える逆転の発想 でビジネスを推進することができるようになりました。

JCI 日本はSDGsを企業活動に取り入れ、地球に優しい経済活動 をすることができるようになりました。

JCI 日本のメンバーは SDGs の知識を促進し、向上させることがで きました。

JCI 日本のメンバーは従来実施していた J Cの事業を SDG s のゴー ルと掛け合わせて考え、実施することができるようになりました。

アクティブシチズンフレームワークの活用がより効果的なインパクトを生み出すものであることを実証することができ、JCI 日本の社会的な信望を高めることができました。

JCI 日本は、運動を持続可能な活動にしていくためにはパートナー シップが大切であると気づき、事業構築段階からパートナーと共に活動を実施する事を心がけるようになりました。

このプログラムによる地域社会への影響を記述してください

・SDGsの中小企業への普及

Facebookページから起業や企業イノベーションに関わる情 報の発信を行い570もの中小企業を支援しました。企業等の成長に 寄与する150件の情報を提供した結果、企業活動の発展に繋がりま した。

そして JCI 日本は女性労働者が更なる活躍を実現することができる ような多様な働き方を推進しました。具体的にはテレワークの推進です。メールマガジンによる推進活動 配信総数 23,398名 働き方セミナー開催 参加人数合計 419名 働き方チャンネルの動画配信 動画再生回数合計 25,660回 多くの女性が社会進出しやすくなりました。

・SDGs達成に繋がる国際貢献

世界の水と衛生の教育問題を解決するため、2016年より継続の 「SMILE by WATER事業」を今年はモンゴル、ミャンマー、フィリピン、そして2LOM合計5か所で実施しました。募金金額や自動販売機46台の売り上げで合計 13,331,047円 この集まった金額は活動資金になりました。現地に安全な水を持続的に 供給することができました。

中国とのビジネスマッチング事業では日本企業50社、中国企業44社の合計94社 交流を行い、そのうち8社が協力パートナー締結 を結びました。

ロシアミッションでは、SDGsをテーマに日本とロシア両国の未来 を担う大学生20名ずつが議論し、モスクワにOB・OGが100名近く集まっての次世代ネットワークが作られた。また共同絵画も作り、その交流の様子は下野新聞(30万部)日税ビジネスサービス(1万 部)でも取り上げらました。

韓国JCと連携し、国際サッカー試合を実施。合計16チーム、選手 229名、合計566人が参加し、相手を思いやる精神を学びながら サッカーを実施しました。

・SDGsを推進するパートナーシップの確立 World SDGs Summit 日本青年会議所のSDGs政策の成果、世界の取り組みや事例をフ オーラムやセミナー、もしくは、体験型のファンクションを通じて、 参加者に伝える集大成の場として開催されました。またパートナーサミット、ビジネスマッチングを行える場の提供をおこないました。 サミットには約2000人以上の参加者が来場しました。のサミ ットは66回SNSで開催のPR投稿を行い、3669の「いいね」 とともに332回のシェアも行われました。

In the past, it was difficult to explain about JCI movement because of wide range of activities.

After our SDGs promotion, members of JCI Japan became to explain that "JCI Japan is an organization that contributes to SDGs".

We can easily share our goals and collaborate with citizens of regions and overseas through SDGs.

JCI Japan won "Japan SDGs Awards" of Japanese Government. The brand of JCI Japan has improved by promoting SDGs and it contributed to membership expanding of each Local organizations.

Members improved their knowledge of SDGs and implement SDGs in their own life.

Members has understood that creation of sustainable city contributes to their own business. It motivated members and future members.

Over 1000 SMEs owned by members implemented SDGs in their business and they engaged in earth-friendly economic activities.

Local organizations share their goals with SDGs and implemented SDGs in their own projects.

The use of the JCI Active Citizen Framework improved impact of projects for SDGs. It improved social reputation of JCI in Japan.

Members realized that partnership is important to make a project a sustainable activity. They became to try to carry out activities with partners from building stage of projects.

Community Impact

How did this program affect the communities served? ** 500 単語まで

Spread of SDGs to Small Medium Enterprises (SMEs) JCI Japan spread information on entrepreneurship and corporate innovation to support 570 SMEs on SNS for SDGs No.9. We also provided over 150 information that contributes to the growth of companies.

We promoted decent work for female workers to SMEs for SDGs No.5 and No.8. Especially, we promoted telework to make women work easily.

Promotional activities by e-mail magazine:

Total number of distributions: 23,398

We held "work style seminars" and the total number of participants was 419.

We also distributed videos "Workstyle channel" and the total number of video plays 25,660.

- International contribution for achievement of SDGs In order to solve the world's water and sanitation education problems (SDGs No.6), we have implemented "SMILE by WATER project" in Mongolia, Myanmar, the Philippines and 2 overseas Local organizations.

Over USD 133,000 donations were invested to the projects. Mainly these donations came from vending machines. We newly installed 46 vending machines.

The projects became sustainable social business of providing safe water in these area.

Promotion SDGs in overseas.

We held the social business matching project with China. 94 companies participated including 50 Japanese companies and 44 Chinese companies. They signed cooperation partners.

On our Russia mission, 20 university students who will lead the future of both Japan and Russia discussed the theme of SDGs. We strengthened a next-generation network of nearly 100 OB and OG gathered in Moscow.

We held an international friendship soccer championship for under 11 years old in cooperation with the JCI Korea, 16 teams. 229 players, and 566 people participated. We created opportunities to develop mutual understanding and brotherhood for SDGs No.16.

Partnership for SDGs

JCI 日本は SDG s 特化クラウドファンディングサイトを立ち上げました。2019年度は台風の復興支援金をはじめ3事業、合計で288万円の資金を調達し2020年度にも広がりを見せます。また、JCI 日本は災害時に、24時間以内に被害状況を把握し、48時間以内には被災地に入り支援できるようなシステムを構築し、災害があった地域への素早い支援を可能としました。

We held "World SDGs Summit" with over 20,000 attendees from 9 countries. The result of projects for SDGs and best practices were shown in 20 seminars. Exhibition about SDGs with 50 booths was held. 66 news were published on mass media and SNS and they got 3669 likes and 332 shares.

We launched a crowdfunding website specializing in SDGs. In 2019, three projects, including typhoon reconstruction assistance funds, raised USD 28,800. The crowdfunding website is expanding in 2020 continuously.

For SDGs No. 11, we established a system that can grasp the status of damage within 24 hours and provide assistance within the affected area within 48 hours. The system enables quick assistance to the affected area.

3 広報活動・展望・パートナーシップ・財務 このプログラムの広報活動戦略を記述してください。

1京都会議:外務省とのタイアップ宣言

2 金沢会議: JCI と K I F J A P A N の タイアップ 宣言

3 サマコン: 34 の企業・団体との SDGs 推進宣言

4全国大会: UN Women とのタイアップ宣言

5日本 JC 公式会報による記事掲載

6日本JC公式Facebook、Twitter、インスタグラム、ライン、YouTubeなどのSNSで発信。

7 JC の SDG s 運動に関して # JCSDG s と夕グを付ける

8ネットメディアと国内報道機関へのプレスリリース

- 9JANIC、JAICA、UNDP、国連広報センターにSDGs 活動への協力依頼を行い、それぞれの立場で情報発信してもらうよう 依頼
- 10少年少女国連大使(歴代大使を含む)、グローバルユース国連大使が在籍している学校に対して当推進事業への協力を要請SDGs政策が世界トップであるスウェーデン、マルメ市での研修を受け、事業専用フェイスブックページで発信しリーチ数87681、いいね数5697を得る。
- 11国連開発計画(UNDP)及び国連広報センター(UNIC)と連携してPR活動を展開
- 12国連に関する授業を行っている大学に対して当推進事業への協力を提案
- 13協賛企業及び協力団体、会員に対して、ホームページへのバナー掲載あるいはページリンクを依頼
- 14 SDGsプラットフォームを構築し、随時情報の発信・収集
- 15 SDGsカラーホイールオブジェを年間を通じて人が集まる観光箇所に15か所(合計13日間)に設置。金沢会議において、21世紀美術館敷地内に設置した際は、2日間で合計802名がオブジェの前で撮影をしていただく等、広報効果があった。
- 1 6 会頭自ら広告塔となりいくつものプログラムを実施しました。 ● 4 7 の都道府県に訪問し、6 9 4 の LOM に自信が作成したオリジナルのセミナーを実施しました。
 - ●入会3年未満のアカデミー会員にセミナーを実施しました。そのセミナー内容はFacebookに掲載され、合計で1724の「いいね」と72のシェアを持って、様々なメンバーに閲覧され、大きなインパクトを与えました。
 - 47の都道府県に訪問する際に必ず、LOMの理事長とトークセッションを行い、その様子を動画に撮影しSNSで60本以上配信しました。
 - ●会頭の JC での学びを記事として自身のHPに45編以上投稿しています。この記事は上げられる度に大きな反響を与え、HPでは70000回も閲覧され、543の「いいね」を得ました。またそのHPはFacebookで合計で460,000以上の「いいね」より多くのメンバーの賛同を得ました。

Public Relations, Visibility, Partnerships and Finances What was the promotional strategy for this program? ※ 500 単語まで

Our promotion strategy was "Promotion with partners on projects"

- 1 Kyoto Conference of JCI Japan: Press Conference: Declaration of tie-up with the Ministry of Foreign Affairs of Japan
- 2 JCI Kanazawa Conference: Press Conference: Declaration of tie-up with KIF JAPAN
- 3 World SDGs Summit: Press Conference: Declaration of SDGs promotion with 34 companies and organizations
- 4 National Convention Of JCI Japan: Press Conference: Declaration of tie-up with UN Women
- 5 Articles published at JCI Japan monthly newsletter
- 6 Publish on SNS such as JCI Japan Official Facebook, Twitter, Instagram, Line, YouTube.
- 7 Tag JCI Japan's SDGs movement as #JCSDGs
- 8 Press release to mass media and internet media
- 9 Requests that JANIC, JAICA, UNDP and the United Nations Public Relations Center cooperate in SDGs activities, and ask each of them to disseminate information.
- 10 UN Ambassadors of Boys and Girls (including successive ambassadors) and schools of them made promotion with us . They shared their experience in Malmö, Sweden, which leads in SDGs policy, on Facebook page.
- 11 SDGs promotion in cooperation with the United Nations Development Program (UNDP) and the United Nations Information Center (UNIC)
- 12 Cooperation of PR of projects with universities which is conducting classes related to the United Nations
- 13 Cooperation with sponsoring companies, cooperating organizations, and members to post banners or link to the website
- 14 Build "SDGs Youth platform" to collect and share updated information.
- 15 SDGs color wheel objects were installed in 13 days at 15 tourist spots where people gather. 802 people taking pictures in front of the object in two days when it was installed on the premises of the 21st Century Museum of Art during JCI Kanazawa Conference.
- 16 National President of JCI Japan initiatively made promotion by himself and implemented several programs.
- NP visited 47 prefectures and held his original seminars for members who have been members for less than three years. The seminar contents were shared on Facebook.
- NP had talk sessions with local presidents in 47 prefectures. More than 60 videos of talk sessions were distributed on SNS
- He has posted more than 50 articles on his website about best practices learned at JCI Japan.

広報活動の成果を記述してください(数字で表せられる場合、数字も 含めてください)

月に1度発行される日本JCの会報にはSDGsに関連した記事毎月掲載し、その年間トータル発行数は48万部。アンケートの結果69.5%が開封しており、満足度は72%である。また、国内外のSDGsに関わる情報を発信するホームページを新たに立ち上げ、1年間で15万PVを達成し、青年会議所のブランドカ向上にも寄与しました。

フェイスブックは年間で302記事をアップし、その合計2,820,868リーチ数で79,158のいいね。ページへのいいねは、2019年度18,721件でSDGsの運動を推進する事により823件増加しました。

JCI 日本の公式ホームページへのアクセスは年間で80万PVを達成。

セミナーやワークショップは全国各地で150件を超え、推進活動や各地の取り組みを行った際には、SNS (Instagram)に「#JCSDGs」のタグ付け投稿を行ってもらい、全国より500件以上の取り組みを共有している。

SDGs推進大使を3名ほど任命し、そのSDGsに関するフェイスブック投稿のいいね数は14500いいねを獲得し、取り組みを広めている。

外務省ツイッターで金沢会議のPRをいただきました。 会期中も4ツイート(合計 リツイート116、いいね444)と広 く拡散いただきました。

会頭の直接的なセミナーやSNS等の活動により、日本JCは新年から会員総数が35000人以上に達成し、さらに現在は40000人以上に会員数が増えました。

このプログラムに参加したパートナーをリストアップしてください (ない場合には、「N/A」と記入してください。

政府組織

外務省 内閣府 国土交通省 UN Woman ミャンマー連邦共和国エーヤワディ地方域政府 厚生労働省 JAICA

他4以上の政府機関

大学 組織 AIESEC JAPAN SECOM 各地社会福祉協議会 スイス公文学園大学 他10団体

企業

ルーダーグル合同会社
アサヒ飲料株式会
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
ソフトバンク株式会社
ヤフー株式会社
株式会社 横浜銀行
日本航空
モホ興業
モルデン
他30社以上

1 0 NOM

JCI 日本の10地区・47ブロック・694LOM

個人

20人以上の日本の有名俳優、女優、アスリートなどの著名人

パートナーは、このプロジェクトにどのような形で参加をしましたか?

How successful was the promotion? Please indicate figures where applicable. ※250 単語まで

More than 200 articles were published at internet media and nationwide and regional mass media.

The JCI Japan monthly newsletter publishes articles related to SDGs every month, for a total of 480,000 copies in 2019. As a result of survey, 69.5% have opened the package, and the satisfaction level is 72%. In addition, we launched a new website to promote SDGs in Japan. It achieved 150,000 PV.

We have shared 302 articles on Facebook annually, with a total of 2,820,868 reach 79,158 likes. Likes to the page were 18,721 in 2019

Access to JCI Japan's official website has reached $800,000\ PV$ in 2019.

More than 150 seminars and workshops are held nationwide, and when promotion activities and local initiatives are carried out, SNS (Instagram) tags and posts "#JCSDGs", and more than 500 nationwide sharing initiatives.

Three SDGs ambassadors have been appointed, and the number of Facebook posts on SDGs has gained 14,500 likes and the effort has been broadened.

The Ministry of Foreign Affairs tweeted 4 tweets on their official twitter page (480,000 followers).

Through direct seminars and SNS activities of National President, his article had a huge response each time and were viewed 70,000 times. His Facebook page got over 650,000 reach and over 460,000 likes.

List the partners that participated in this program. (write N/A if none) **100 単語まで

=International body UN Women UN University UNICEF

=Government agencies

Ministry of Foreign Affairs and 3 ministries JAICA and 4 government agencies Regional Council of Social Welfare in 47 prefectures Ayeyarwady Regional Government of the Republic of Myanmar

=University Swiss Literature Academy and 10 universities

=Company Google, Yahoo SoftBank Corp. No.1 investor

Asahi Soft Drinks. No.2 drink maker Sompo Japan Nipponkoa Insurance Inc. No.2 insurance corp. The Bank of Yokohama. No.1 regional bank Japan Airlines. No.2 airlines Other 40 or more companies

=Other organization KIF Japan AIESEC JAPAN

=Individual

More than 20 famous Japanese actors, actresses and athletes

How did partners participate in the program? ※250 単語まで

外務省は「SDGsタイアップ宣言」を締結し、2030年に向けてSDGsを共に推進することを誓いました。

内閣府は、経済的価値にとどまらない、多様な個性を利用した、日本型のビジネスモデルで世界の共感を得られるビジネス政策を推進しており、JCI 日本と一緒に推進しました。

UN WOWEN は JCI 日本と HeForShe 運動を通じて、日本国内のジェンダー平等意識を向上させることを誓いました。そして JCI 日本と MOU 締結にいたり、57のメディアに取り上げられることとなりました。

国土交通省は、昨今日本で増えている、空き家空き地の問題について行政と JCI 日本が良いパートナーシップを築き、空き地・空き家問題に取り組む事を宣言し、推進を始めました。

ミャンマー政府、そして JCI 東ティモール、JCI モンゴル、JCI ミャンマーは S M I L E b y WA T E R 事業を通じて、現地住民の方に安心な水資源のインフラを継続的に提供することができ、今後のロールモデルを作る事ができました。

グーグル、ヤフー、アサヒ飲料など世界を代表する55の企業や団体は、JCI日本がSDGsをテーマにした家族参加ができるイベント(SDGsPARK)に出展し、14000人の参加者に企業でのSDGsの取り組みを知ってもらう事ができました。そして参加した34の企業・団体はパートナーシップを結び、SDGs達成にむけた運動を行う「SDGs推進宣言」をしました。

4 プログラムの長期的な影響

このプロジェクトによって得られると予測される長期的な影響を記述 してください

JCI 日本はSDGs宣言によって、各LOMが2030年までSDGsを推進することが約束されました。そしてJCI 日本は、SDGs達成にむけた様々なプロジェクトの実施と大規模な会議を継続して開催していく事ができるようになりました。

JCI 日本は HeForShe 運動によって、3万人以上がジェンダー平等に向けて行動する事となりました。また、世界で一番ジェンダー平等への意識が高い国を目指して、HeForSheキャンペーンを全国でさらに推進します。

・SDGsアンバサダーは全国各地で長期的に行動していくことをコミットメントしています。

「SMILE by WATER事業」で関わりのある現地の NOM や企業は、これからも継続的に安全な水を学校、そして地域に提供できるようになりました。

日本はロシアや韓国、中国との国際的な様々な問題を抱えております。しかし、今回の交流事業を通じて民間レベルで、お互いの価値観の共有することで、お互いを理解しようという心が芽生え、外交問題の解決にまずは民間から、身近な交流を始める事ができるようになりました。

このプロジェクトの改善点・改善策を記述してください

※マイナスな表現はしないでください。前向きな改善点を記載しましょう

現在、JC、行政、市民へと広がりを見せたが、さらに発信力や影響力を増大させるために、企業-マスコミをもっと巻き込む必要です。 財政的資源を増大させるために、事業主導の資金援助を拡大させる必要があります。

の見ば、スマイルバイウォーター事業に関して、自販機の売り上げだけで活動資金を賄う戦略だけでは持続可能を維持できないと感じます。

他の SDG s の運動に関しても企業協賛やクラウドファンディングなどを活用し、新たな資金を得る方法を模索し、持続可能な活動にするためにはパートナーシップが大切である。

UN WOMEN has pledged to increase gender equality in Japan with JCI Japan though "HeForShe" Campaign. They concluded the MOU with JCI Japan and it was reported in 57 media.

The Cabinet Office of Japan has promoted decent work and investment to innovation that utilizes diverse personalities with JCI Japan.

Ministry of Foreign Affairs has concluded the "SDGs Tie-Up Declaration" and has pledged to promote SDGs together toward 2030 with JCI Japan.

Ministry of Land, Infrastructure and Transport collaborated with JCI Japan about issues of vacant houses that are risks on disaster.

The Government of Myanmar, JCI East Timor, JCI Mongolia and JCI Myanmar collaborated with JCI Japan about providing reliable water resources infrastructure to local residents through "Smile By Water" projects and have created role models in the community.

55 leading companies and organizations such as Google, Yahoo, and Asahi Beverages showed their implementation for SDGs at exhibition in "World SDGs Summit" which enabled 14,000 participants to learn about SDGs initiatives at companies. The 34 companies and organizations that participated entered into a partnership and made the "SDGs Promotion Declaration," a campaign to achieve SDGs.

Long-term Impact of the program

What is the expected long-term impact of this project? ※ 200 単語まで

JCI Japan and its local organizations has promised to contribute to SDGs until the end of 2030 according to "SDGs Declaration" that is approved by 694 local presidents. JCI Japan will continue to implement various projects and hold large-scale meetings to achieve SDGs.

More than 30,000 people have been working toward gender equality through the "HeForShe" campaign. We will also promote the "HeForShe" campaign nationwide with the aim of becoming the most aware of gender equality in the world.

The SDGs Ambassadors committed to taking long-term actions across the country.

Other National organizations and companies which involved in the "SMILE by WATER" project have been able to continuously provide safe water to schools and communities.

Japan has a variety of international problems with Russia, South Korea and China. However. Through our projects of sharing mutual values at the private sector level, awareness of young people has developed. Some young people are developed to take action for close exchanges from the private sector to solve international issues.

What changes would you make to improve the results of this project? ※300 単語まで

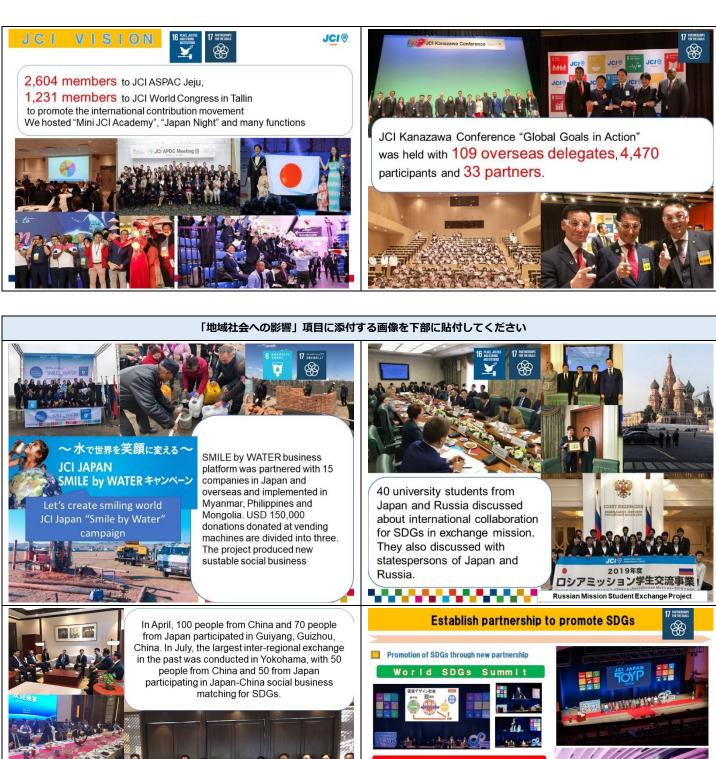
Awareness of SDGs were spread to JCI members, small and medium enterprises and local governments by our project. To spread SDGs to general public, it is need to involve mass media more.

In order to increase financial resources, we need to expand project-driven funding. For example, with regard to the "Smile by Water" project, it is needed multiple ways to raise funds sustainably like vending machines.

Financial partnerships and sponsorship or crowdfunding will accelerate to our project.















JCI International Academy held on 4th- 13th July 2019 with 76 overseas delegates and 90 international participants. In addition, president of JCI JAPAN held SDGs session for 3 hours. Our efforts from the viewpoint of SDGs were introduced under the theme of "Global to Local" achieves the SDGs ". National President Kamada organized a program to nurture the "essential" promotion consciousness (Global to Local) utilizing JCI's unique and global network.



